

『It's my choice 私の選択 教師用マニュアル』
スティーブ&マリット ケース

サンプル版

これは完成版ではありません。
お試し用にのみお使いください。



スペシャル (霊的な生活)

イツツ・マイ・チョイス

5



バプテスマガイド概要 5 スペシャル（霊的な生活）

導入：どのようにして、話をするのか？

- I. 聖書は、私たちのために神様から与えられました（テモテへの手紙 2・3 章 15～17 節）
 - A. 私たちは、本からたくさんのことを学ぶことができます。聖書は 66 の書物から成っています。
 - B. 聖書は、救いについて教えています。
 - C. 聖書は、どのように書かれたのか？
- II. 離乳食、それから堅い食べ物、ペトロの手紙 1・2 章 2 節（ヘブライ人への手紙 5 章 12～14 節）
 - A. 聖書物語をいくつか知っていますか？
 - B. 情報を超えて、理解へ行くととき。
 - C. 聖書を自分のために読む。
 - D. 様々な訳の聖書。
- III. 神様と話をする。主の祈り（マタイによる福音書 6 章 9～15 節）
 - A. 私たちが祈るとき、何が起こるのか？
 - B. 主の祈り。
 - C. 神様と語り合う。
- IV. 神様と定期的に会話をする必要がある。ぶどうの木と枝の例（ヨハネによる福音書 15 章 4～5 節）
 - A. 自分の霊的な生活に責任を持つ
 - B. あなたのディボーション生活
 - C. 花、葉をつけた枝と幹の例え
- V. 尊敬と共に、イエス様を分かち合える用意（ペトロの手紙 1・3 章 15 節）
 - A. あなたの持っているものを分かち合う。ヨルダン川、ガリラヤ湖、死海。
 - B. ペトロの手紙 1・3 章 15 節の言い換え。
 - C. イエス様を表現する。イエス様を友人として表現する。

結論：霊的な指導者との関わりや、彼らに霊的な援助者になってもらうことによって、霊的な責任を負えるように成長する。

バプテスマガイド 要点5 スペシャル（霊的な生活）



聖句

1. テモテへの手紙2・3章15～17節：神様は、聖書を通して私たちと会話をなさいます。
2. ヘブライ人への手紙5章12～14節：私たちは学ぶときに成熟します（ペトロの手紙1・2章2節）
3. マタイによる福音書6章9～13節：祈りは、私たちと神様との会話です。
4. ヨハネによる福音書15章1、4、5節：霊的な成長を日課にする。
5. ペトロの手紙1・3章15節：イエス様を人々と分かち合う準備をする。

決心の時間

自分の霊的な生活に責任を持つ。

具体的に（ステージ3の子どもたちに適切に）

教科書や参考書を含む、いくつかの本。インターネット情報。

「赤ちゃんのように食べる」

離乳食を用いて、適切か、適切でないかを考える。

聖書の訳と意識のコピー。

花、葉をつけた枝と幹の例え（切り離してしまうと死んでしまうもの）

生徒に、ある友人の素晴らしいところについて話してもらう。

「神様と話す」

四種類の祈りをしてみる：お願い、感謝、驚き、他人のために。

「関係を失う」

鉢植えの植物の枝が折られるとき。

ヨルダン川、ガリラヤ湖、また死海の例えを用いて、霊的体験と人々にイエス様を紹介することを考える。



バプテスマガイド 内容5 スペシャル（霊的な生活）

用意するもの

- ・聖書、生徒ワークブック、ボールペンまたは鉛筆。
- ・教科書、参考書、などのいくつかの本。インターネット環境。
- ・何種類かの離乳食。
- ・複数の訳の聖書、または聖書のアプリ。
- ・鉢植えの植物。花が咲いていて、枝が折れやすいものがあればなお良い。

導入

罪が世界に入り込む前にアダムとエバがしていたように、神様と顔と顔とを合わせて話したいと思ったことはありませんか？ 私はあります！ イエス様が再びおいでになり、日常的に、イエス様と会話ができる日が待ち遠しいです。イエス様もきっとそれを望んでおられるはずです。でもそれまでの間、私たちは、どのように神様と話すことができるのでしょうか？ 私たちを創られたのは神様なので、私たちは神様と一緒に過ごすことができる日まで、何かしっくりこない、心の奥に穴が空いたような気分になるのです。ある人々はそれを「魂」と呼び、別の人々は「精神」や「心」と呼びます。それは、私たちが何者であるか、本当の意味で誰であるかを示す重要な部分です。しかし、多くの人々はそのことを知りません。しかし、すべての人々の内側には、神様とつながりたいと願う「部分」が存在するのです。

Ⅰ. テモテへの手紙 2・3章 15～17 節： 神様は、聖書を通して私たちと会話をなさいます。

良い先生は、私たちに多くのことを教えてくれますが、ある人々は本を読むことで学びます。先輩たちが長い期間かかって発見したことを、本を読むことですぐに学び取ることができます。本を読むことは、まさに学習への近道のようなものです。あなたが赤ちゃんのときには、両親が色々なことを教えてくれました。しかし成長するにつれ、両親から学んだことだけでなく、今度は自分で学びを深めていくことができる段階になります。この成長期こそ、先生から学ぶことや本を読むことがとても役に立ちます。学校での学びと違い、読書は質問や会話はできませんが、十分に先生の役割を果たします。若い人たちは、印刷された本よりもインターネットの情報をよく調べますが、それも、外側から情報を得る手段としては同じことです。

（生徒がもっている教科書の一つを手にとり、先生の本も同じように取り上げて、本が情報の源で

あることを示します。参考書などは、とても有益な例です。生徒たちがインターネットで情報を得ることに慣れているなら、その方法も例示して情報を得る手段のひとつであることを説明します。)

神様が私たちと会話をされるひとつの方法は、本を読むことを通してです。神様は、66巻の本を私たちのために提供してくださいました。ある本はとても短く、1ページもありますが、あるものはとても長く100ページ以上にもなります。その66冊の本が、私たちがよく知っている「聖書」と呼ばれる1冊の本になったのです。テモテへの手紙2・3章15～17節を開いてみましょう。聖書がどこから来て、どんな目的があるのかを調べてみましょう。

(生徒の一人に聖句を読んでもらい、聖書の目的を複数発見させましょう。話し合いのあとで、自分で言い換えた言葉を聖句シート5に書いてもらいます)

聖書は、私たちの救いに関わる重要な情報を与えています。私たちがバプテスマの準備の教科書として、聖書を使っている理由がそこにあります。テモテが言っているように、みなさんも、お家で聖書のお話を聞きながら成長しました。みなさんの両親は、聖書に書かれている神様についての情報をみなさんに教えてきたのです。聖書は、救いへの道を示すだけでなく、私たちを訓練し、どうしたら神様喜ばれる人物になれるかについても教えています。

しかし聖書は、ある日、神様がお座りになって書かれたものではありません。では、聖書はどのように書かれたのでしょうか。

(生徒に質問します。聖書を読んだことのある生徒は、ペトロの手紙2・1章21節の「人々が聖霊に導かれて神からの言葉を語った」ことを知っているかもしれません。ワークシート5の最初の質問に答えさせましょう。話し合いの間、生徒たちのいろいろな意見を書き留めてみましょう。あるいは、この学びの最初の文章か、まとめの文章を全員で読んでみましょう。)

実際に、旧約聖書の39巻の書物は、世界の創造から始まり、神様の民の歴史と、彼らが救いの道としてずっと捜し続けていた、約束されたメシアであるイエス様の初臨までを扱っています。最も古い作者は、イエス様が生まれる1500年も前の人物です。異なる作者が、1000年以上にもわたって、神様から与えられたメッセージを記録してきました。いくつかのメッセージは、ある特定の時代についてのメッセージを伝えています。それだけにとどまらず、時代を超えて現代にまで神様の教えを伝えているのです。私たちは、そのメッセージが最初に書かれた時代背景についてよく理解し、それがどのように今の私たちの生活に適用できるかを考えるときに、意味はさらに深められるのです。こうして、聖書は数千年前に書かれた単なる古い書物から、私たちの時代においても意味をなす書物となるのです。

新約聖書の27巻の書物は、イエス様が地上におられたときの物語と、イエス様が天にお帰りになった後のキリスト教の発展の歴史を記しています。新約聖書の多くの書物は、使徒パウロが異なる教会や個人に宛てて書いた手紙です。例えば、テモテへの手紙2などもその一つです。

Ⅱ. ヘブライ人への手紙5章12～14節： 私たちは学ぶときに成熟します。

私たちは成長するにつれて、両親や大人から神様について教えてもらう段階から、今度は自分で神

様を理解する段階に移って行きます。若い人たちの多くは、聖書物語を一度聞くと、それで十分と思っています。ですから、ダビデとゴリアテや、ダビデとバテシバについて先生が話すのを聞くと、とても退屈そうな顔になります。彼らは、その物語がもつ深い、重要な教えを理解する準備ができていません。

みなさんはどうですか？ どれくらい多くの聖書物語を知っていますか？ 聖書クイズをしたら、完璧に答えることができますか？ そうであれば、より深く理解するための十分な基礎を持っていることになります。あなたは、他の人が教える物語をただ聞く代わりに、自分自身で神様を発見する準備ができていますか？ それとも、まだ霊的な生活については、子どものままでいたいのですか？

（ペトロの手紙1・2章2節と対照的に）ヘブライ人への手紙5章12～14節は、霊的な生活において成長することに失敗している人々の問題を指摘しています。

（生徒の一人に、ヘブライ人への手紙5章12～14節を読んでもらい、他の生徒に言い換えをしてもらいます。この聖句は、多くの生徒にとって少し理解し難いので、いつもよりも多く時間が必要かもしれません。生徒たちが理解できたら、聖句シート5に自分の言い換えた言葉を書いてもらいます）

遊び：赤ちゃんのように食べる。

みなさんは、自分の歯が生える前のことは覚えていないでしょうね。全員が離乳食を食べて育ってきたのです。

（実際に離乳食を生徒たちに見せます。数種類のものを用意し、生徒に食べさせる準備をします）

もしかしたら、大きくなってからも、離乳食をこっそり食べたことのある人もいるかもしれません。離乳食としてではありませんが、ヨーグルトにかけるアップルソースも食べることはあります。スムージーも離乳食のようなものと言えるかもしれませんね。

途中説明：もし、大人になっても毎日離乳食だけしか食べないとしたら、それはとてもおかしいことです。そのような人が大人として正しく成長するためには、「大人」のための食べ物を食べる必要がある、と誰もが考えるはずです。同じことが、私たちの霊的な生活にもあてはまります。霊的な生活において、私たちがまだ赤ちゃんのままでいるということはないでしょうか？

霊的に成長する一つの秘訣（霊的な生活において成熟すること）は、聖書を自分で読み、理解することができる、ということです。みなさんくらいの年齢になれば、聖書をかなり読み込むことができます、特にそれが、現代語の聖書であればなおさらです。しかし、多くの人々は、誰かが説明してくれなければ、聖書を理解することができません。ですから私たちは、学びの中で聖句を自分の言葉に言い換えることを続けているのです。先生はみなさんに、ただ聖書を読むだけでなく、自分で理解で

きるようになって欲しいのです。それは、とても難しいことですが、成長するためにはとても重要なことなのです。

みなさんは、自分の聖書を持っていますか？ 本の聖書ですか？ それとも聖書アプリですか？

（この学びを学校の授業で行っているなら、何人かの生徒は、聖書を家に一冊、学校に一冊持っているかもしれません。スマートホンを持っている生徒は、聖書アプリを持っているかもしれません）

みなさんの持っている聖書が、何という訳かを知っていますか？ 複数の訳の聖書を持っていますか？ 持っている人は、どの聖書の訳が好きですか？

（生徒たちに、どの訳の聖書を持っているか発表してもらい、どの訳がお気に入りかを聞いてみます）

ここでとても重要なことがあります。みなさんは、自分の持っている訳の聖書を読むときにそれを理解できますか？

（生徒たちに答えてもらいましょう）

ワークシートの質問4に、あなたのお気に入りの訳を書いてもらいます。

（生徒たちにワークシートに記入する時間を与えます。自分の聖書をまだ持っていない生徒がいれば、これは彼らにとって意味のある聖書の訳について話し合うとても良い機会となります。インターネット版と聖書アプリは、複数の訳を同時に読むことができます。

自分で理解できる聖書を持つことを生徒に勧めます。そうでなければ、それは単なるお飾り、幸運のお守り、役に立たないアプリであるということです。

他の人が使う聖書の訳について、心を乱す人々がいます。しかしそのどちらもが翻訳や意識です。聖書は、ヘブル語、ギリシャ語、少しのアラム語で書かれた、古い聖書の写本を多くの人々が集めたものです。これらを聖書学者たちが、一つの言語、例えば日本語に翻訳したいと考えたのです。翻訳者たちは、様々な教派の中から選ばれ、一つの教派の考えに偏ったものにならないように工夫しています。英語翻訳の例としては、New International Version（新国際訳）、New Living Translation（ニューリビングトランスレーション）、Kings James Version（欽定訳）、English Standard Version（英語標準訳）などがあります。そして、日本語翻訳で現在手に入るものとしては文語訳、口語訳、新改訳、新共同訳、聖書協会共同訳などがあります。

聖書を理解するのにとても効果のある方法は、聖書を自分の言葉で意識（パラフレーズ）することです。典型的な意識とは、聖書を自分が理解できる言葉で言い換えることです。原語であるヘブル語やギリシャ語、アラム語を理解できる人も、そうでない人も、聖書を現代語に意識することで理解しやすくなります。リビングバイブルなどがその良い例です。

はっきりしていることは、誰一人オリジナルの聖書をまだ発見していない、ということです。最も古い写本でも、コピーのコピーのコピーのコピーなのです。近年、より古い写本が発見されたことで、新しい翻訳の方が古い翻訳よりも少しだけ正確になっています。しかし、その差はとてもわずかなものです。アドベンチストは、一つひとつの言葉に神様の靈感が働いたのではなく、ベースとなる思想に神様の靈感が働いたと考えています。ですから、いくつかの言葉が違っていても、考え方が同じならば大したことではないと考えているのです。最も重要なことは、あなたが読んでいる聖書をあなたが「理解」できるかどうかなのです。

Ⅲ. マタイによる福音書 6 章 9～13 節： 祈りは、私たちと神様との会話です。

祈りは、私たちの霊的な生活を成長させるもう一つの方法です。多くの人は、祈りとは食事の前と、夜ベッドに入るときと、緊急の助けが必要なときに捧げるものであると考えています。実際に、祈りが得意だと答える人はとても少ないのです。教会などの公の場での祈りは、普段私たちたちが会話する言葉とは違っているのです。私たちは、どのように祈ってよいかわからないと考えてしまいます。また祈りとは決まり文句を唱えることであると考えている人もいます。ある人は、十分に長く祈ることによって神様の注目をひくことができると考え、神様をわずらわすことで、神様に興味を持ってもらえると考えているのです。

イエス様が地上におられたとき、弟子たちはイエス様に「祈ることを教えてください」とお願いしました（ルカによる福音書 11 章 1～4 節）。その答えが、現在「主の祈り」と呼ばれている祈りです。何人かは、聖書を見なくても暗証しているかもしれませんが、今日は、マタイによる福音書 6 章 9～13 節を開いて読んでみましょう。

（生徒の一人に聖句を読んでもらい、他の生徒に言い換えをしてもらいます。先生は、白紙を用意して、彼らの自身の言葉でお祈りを書かせてみても面白いかもしれません。その後で生徒たちに言い換えた言葉を聖句シートに書いてもらいます）

主の祈りについて確かなことは、イエス様は私たちに、まず自分が必要としていることを願うように教えておられるということです。私たちが欲しいと思うものを直接神様にお願いするのです。しかし成長するにつれて、子どもがサンタクロースにプレゼントをねだるようにではなく、個人的なことを神様に打ち明けられるようになっていくのです。神様のお姿は、創造主である「力」と、父親の持つ「知恵」と「優しさ」、さらに親友に対する「信頼」をミックスしたようなものです。私たちは、神様と定期的に親しく会話をすることができるのです。

最初の祈りはとても短いかもしれません。一言、二言で終わってしまうこともあるでしょう。しかし祈り続けていると、長く祈れるようになり、数十分間祈り続けることもできるようでしょう。神様にアドバイスを頂こうと、長い時間瞑想している自分に気付くこともあるかもしれません。それも祈りの一つです。聖書を読みながら、神様と沈黙の会話を続けることも祈りです。ですから祈りとは、ひざまずいたり、目を閉じて手を組んだりなどという形式に限られたものではありません。それだってひとつのお祈りの形にすぎないのです。

ワークシートの項目 5 にある、4 種類の事柄について祈ることも一つの方法です。ここで、4 つの具体的なお祈りの例について考えてみましょう。

1. お願い：あなたが欲しいものや必要なものを、神様に祈り求める
2. 感謝：神様があなたのためにしてくださった事に感謝する
3. 驚き：神様が不思議な方法で問題を解決してくださった驚き「ワオー！」
4. 他の人のために：あなたの大切な人のことについて神様にお願いする

遊び：神様と会話する。

時間をとって、神様と会話してみましょう。祈るための4つの事柄について、何かメモしましょう（ワークシートの項目5を参照）。順番どおりでもいいですし、好きな順番でもかまいません。4つの事柄について複数記入してもかまいません。では、お祈りのメモを作ってみましょう。

（先生は指導する準備をしておきます。ほとんどの生徒は、「お願い」「感謝」そして「他の人のために」祈ることには慣れているでしょう。しかし「驚き」には慣れていないかもしれません。ほとんどの生徒がメモを書き終わったら、静かに個人でお祈りを捧げるように伝えましょう。声に出して祈ることができる生徒はそれでもかまいません）

途中説明：祈ることについて最も重要なことは、言葉使いでも、祈るタイミングでもありません。どれだけ長く祈るか、またどんな姿勢で祈るかでもありません。祈りは、単純に祈ることそのものが重要なのです。目的は神様と会話することです。ただそれだけを意識してください。しばらく祈っていれば慣れてくるでしょう。最初は怖がらずに、思い切ってやってみましょう！

IV. ヨハネによる福音書 15 章 1、4、5 節： あなたの霊的成長を、生活習慣にする。

子どもだった頃には、大人が神様との時間を計画していました。大人が家庭礼拝を計画し、安息日学校や教会に連れて行き、クリスチャンスクールに通わせてくれています。今や、あなたは、自分の霊的成長の責任を持つところにきました。これは、家庭礼拝に参加しない、ということではありません。これからは家庭礼拝の役割の一部を頼まれるかもしれません。また、安息日学校や教会に行くのを止めるということでもありません。これまでは他の人があなたのために選んできたことを、これからはあなた自身が選ぶということです。あなたが霊的成長の責任を持つことに関して、イエス様が鍵を持っておられます。それは、イエス様が弟子たちにお与えになったものであり、ヨハネによる福音書 15 章 1、4、5 節に書かれているものです。

（生徒の一人に聖句を読んでもらい、もう一人の生徒に言い換えをしてもらいます。その後で、全員に自分の言い換えた言葉を聖句シート 5 に記入してもらいます）

霊的高揚感を与えてくれるキャンプミーティング、サマーキャンプ、パスファインダーキャンポリー、ミッショントリップに一年または二年に一度参加することで、霊的成長を保とうとする人がいます。しかしそれは長続きしません。霊的な歩みにおいては、上がる時も下がる時もありますが、イエス様は私たちが定期的に神様と交わり続けるように教えています。交わっていない人とどうやって友だちになれるのでしょうか？ それではただの想像上の友情です。霊的な成長のためには、友人であるイエス様と、どんなときにも時間を作る、ということです。特別なイベントの霊的高揚感も必要

ですが、霊的成長に必要なのは、あなたとイエス様との定期的な時間です。それは、他の時間も、イエス様を中心にして生きていくことにもつながるのです。

イエス様と定期的に時間を作らないと何が起きるでしょうか？ あなたの霊的生命は死んでしまいます。週に一度の食事では、生命を保てないように、霊的生命も養われなければ餓死してしまいます。

遊び：関係を失う

これを理解するひとつの方法は、植物のある部分が、栄養の源から切り離されると、何が起きるかを観察することです。

（植物を持ってきて、一本の枝を切り離すか、折ってしまうことで例証します。）

栄養の源から切り離された枝には何が起きるでしょうか？

（生徒に答えてもらいます。一日か二日、枝をそのままにしておくとうなるか、みんなで話し合ってみましょう）

途中説明：枝は、はじめは生きてるように見えます。しかし、それが死んでしまうのは時間の問題です。

イエス様と過ごす時間がなければ、霊的生命は餓死してしまう、ということを本当には信じていない人々がいます。しかしイエス様と交わることなしに、どうやって神様との関係を保つことができるのでしょうか？ それは突然起きるのでしょうか？ それとも長い時間をかけて起こるのでしょうか？あるいは彼らは、自分の霊性の責任を他の人に期待するのでしょうか？自分で自分の霊性の責任を取る代わりに。これでは、彼らはイエス様との関係を保ち続けることはできません。

V. ペトロの手紙1・3章15節： イエス様を他の人に紹介する備えをする。

イエス様と豊かな経験を持っている人々が、自分の持っているものを他の人に紹介しないなら、霊的生活は、新鮮でなくなります。あなたが、自分の持っているものを与えるならば、あなたは、更に与えられることになります。聖書の巻末には、ヨルダン川、ガリラヤ湖、死海などの地図があります。そこで起きていることは、霊的な生活においても起きることを教えてくれています。ワークシート5を見てみましょう。

ヨルダン川は、ガリラヤ湖に流れ込んでいます。地図の上をみてください。ガリラヤ湖には、生命があふれ、たくさんの魚が住んでいます。ヨルダン川は新しい水をそこへ運びます。ガリラヤ湖下方からヨルダン川は続き、イスラエルの大地を流れていきます。そして最後に死海へと流れ着きます。死海には、流れ込む川はあっても、流れ出る川がありません。それが「死海」と呼ばれる理由なので

す。流れ込む川と流れ出る川があって、生命は生きることができます。霊的な生活にも同じことが言えます。受けるだけでなく、与えることが重要なのです。受けるものとは、イエス様を知ることです。与えるものとは、他の人にイエス様を紹介することです。霊的に与えられるものと、霊的に与えるもので、他に思いつくものがありますか？ それらをワークシートに書いてみましょう。

(受けるものについて生徒が思いつくように助けましょう。答えはこの学びですでに扱いました。与えるものについては、もっと助けが必要かもしれません。例えば、他の人にイエス様について話すことや、奉仕活動をするなど)

あなたはどうやって霊的な経験を「与える」ことができますか？ あなたの霊的な生活の中で人を助けることによって、自分の中で経験していることについて(また、経験していないことについて)人々に語ることによってです。ペトロの手紙1・3章15節は、まさにそのことについて書かれています。

(生徒の一人に聖句を読んでもらい、他の誰かに言い換えをしてもらいます。この聖句は三つの部分を持っています。真ん中に焦点を当て、他の文章も関連付けましょう。話し合いの後で、聖句シート5に自分で言い換えた言葉を書いてもらいます)

あなたの友だちの一人について考えてみましょう。その友だちについて、先生に教えて下さい。その友だちのどこが好きですか？ 何に興味を持っていますか？ 私にその友だちを紹介してください。誰から始めましょうか？

(順番に生徒に紹介してもらいます)

イエス様との友情について考えてみましょう。イエス様のどこが好きですか？ イエス様は何に興味をもっていますか？ 私がイエス様についてどう感じると思いますか？ あなたの友だちであるイエス様を先生に紹介してください。

(この実践も生徒に順番にしてもらいます。さっきより、かなり難しいかもしれません。なぜなら、生徒たちはイエス様を友だちとして認識していないかもしれないからです。また、イエス様が人間の友だちのように、手で触れることのできる存在ではないからです)

聖句の最後の部分を忘れないようにしてください。(原文では「イエス様を、優しさと尊敬を持って紹介しなさい」となっています)他の人にイエス様を強制することは、かえって興味を失わせてしまうものです。それは決して、イエス様が人々にお示しになった方法ではありません！

結論

今回の学びの主題は「霊的な生活(霊性)」でした。あなたは自分の霊的な生活に責任を持つのに十分な年齢に達しています。今日は、霊的に成長するためのいくつかの方法を学び、みんなで話し合いました。例えば、あなたがバプテスマを受ける選択をしたとき、それはイエス様に従う決心をしたことを表しています。どのようにして、神様と関係を持続させるか、ということがとても大切なことであり、その責任はあなた次第であることを学びました。まさに「あなたの選択」なのです。

あなたの霊的な生活をいかに成長させるか、計画をたてることをお勧めします。そしてそれを、あなたの人生で大切な人々に相談しましょう。大切な人々とは、両親、先生、牧師、安息日学校リーダー、友だち、そして、あなたの霊的な生活を導いてきた人々のことです。彼らはあなたのサポーターで

す。次の学びのときに、みなさんがどんな相談をしたかを発表してもらいます。もし相談するのに勇気が必要なら、どんな風に話したら良いか、先生がいくつかのアイデアを教えたいと思います。

さあ、みなさんは自分自身の霊的な生活の責任を負うときが来ました。あなたは、今、十分にそれができるほど成長したのです！

（最後にお祈りしてクラスを閉じます）



聖句シート 5 : スペシャル（霊的な生活）

次の聖句を読んで、自分の言葉でまとめてみましょう。

1. テモテへの手紙 2・3 章 15 ～ 17 節

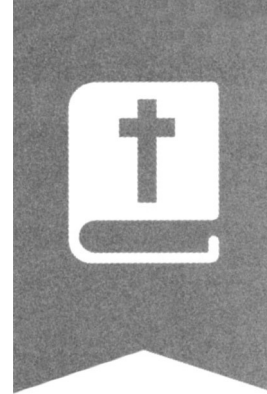
2. ヘブライ人への手紙 5 章 12 ～ 14 節

3. マタイによる福音書 6 章 7、9 ～ 15 節

4. ヨハネによる福音書 15 章 1、4、5 節

5. ペトロの手紙 1・3 章 15 節

ワークシート 5 : スペシャル（霊的な生活）



聖書は、どのようにして完成しましたか？

2. あなたは、自分の聖書を持っていますか？ ☐ はい ☐ いいえ

3. それは、何訳の聖書ですか？

4. お気に入りの聖書の訳は、何訳ですか？

5. 祈るときに使える、四つの言葉。

お願いします。

感謝します。

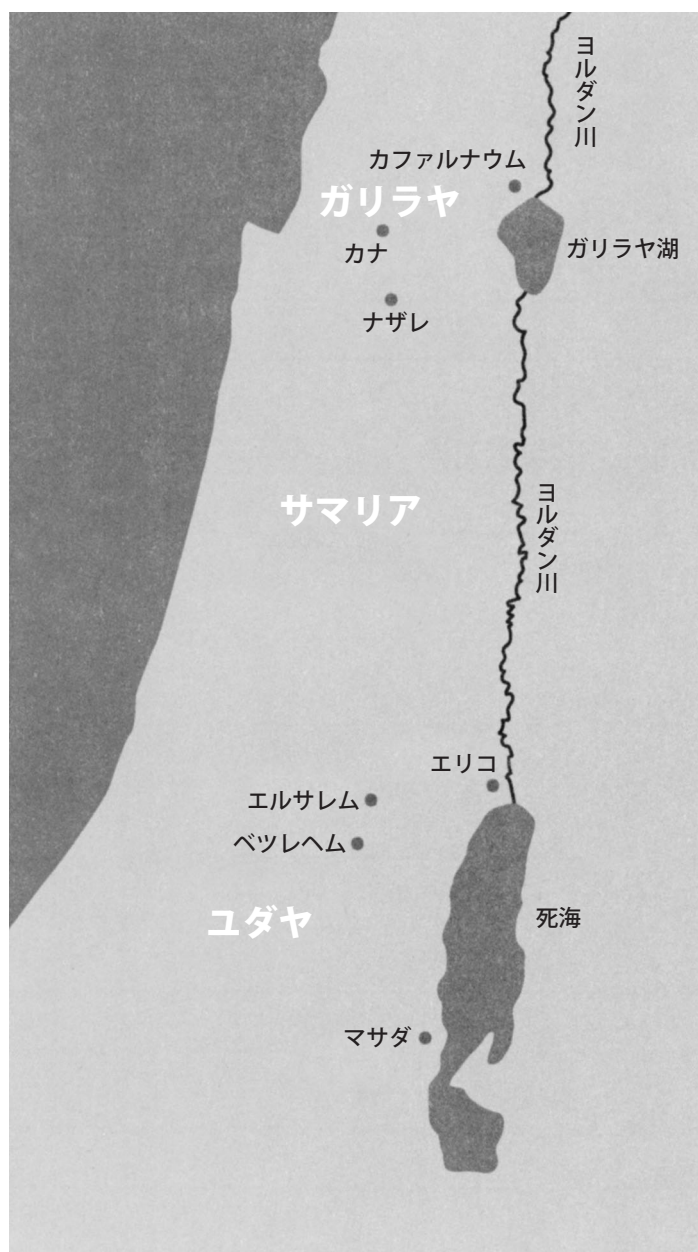
素晴らしいです！

他の人たちのうえに。



ワークシート 5 : スペシャル（霊的な生活）

ヨルダン川、ガリラヤ湖、
死海の地図



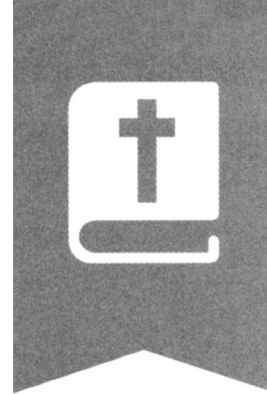
霊の心が内側に流れ込むこと。

イエス様を知ること。

霊の心が外側に流れ出ること。

イエス様を伝えること。

「家族と話そう」シート5： スペシャル（霊的な生活）



1. あなたの好きな聖句はどこにありますか？ あまり好きでない聖句はどこにありますか？ その理由はなんですか？ どのように好きな聖句を探しますか？

2. 自分の聖書を持っていますか？ 毎週どのくらいの時間、聖書を読むために使いますか？ 自分の内側に霊の心を取り込むことについて、あなたはどのくらい他人に頼っていますか？

3. 何歳になったら、自分の霊的な生活について責任を負わなければならないと思いますか？ あなたの両親、学校の先生、安息日学校のリーダーや教師、友だち、他の教会員は、あなたの霊的生活にどんな役割を負っていると思いますか？

4. あなたがよくするお祈りはどのようなものですか？ あなたは自分のお祈りに満足していますか？ お話してください。

5. 答えられた祈りと、答えられなかった祈りについて教えてください。その違いはどこにあると思いますか？（自己中心に祈ったこと、など）

6. あなたにとって、神様は現実ですか？ 神様のことを他の人にどうやって伝えますか？

7. 友だちや家族に証しをするのと、全く知らない人に証しをするのとでは、どちらがやさしいですか？ それはなぜですか？

このテーマについて、他に質問や意見があれば書いてください。
